

令和7年度

加茂小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 主体的・対話的でタブレットを活用した深い学びを実現する学習方法の改善
- 教師の授業力の向上<学力向上サポート事業(三加茂中連携)>

校長

瀬野 俊恵

学力向上推進員

新藤 千晴

【小中連携における共通の取組】

自主的・意欲的に取り組む児童を育てるための「めあて」と「振り返り」の工夫

【各校の取組状況の把握について】

職員室での教職員の会話の中で、それぞれの取り組み状況について随時話し合う。管理職による日常の授業参観の中で、取り組み状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題にまじめに取り組むことができる児童が多い。 ●基礎的・基本的な知識・技能の定着に課題がある児童がいる。	・学年相応の学力を身につけ、生活の場面において活用することができる。 ・読み書きの能力や語彙力を高め、読解力を身につけることができる。	・読書に親しむために、たてわり班で読書をする機会を設ける。 ・他の教員の授業を観察する機会をつくり、授業力を向上させる。 ・小テストなどの習熟度を把握する機会を増やす。 ・TTと児童の学習状況を共有し、チームで支援する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○発表しようという意識が高く、友達の前で自分の意見を伝えようとする姿が見られる。 ●理由や根拠を明らかにしながら説明したり、問題を解いたりすることが難しい。 ●相手や場に応じた話し方ができていない。	・自分の考えをもつとともに、相手に分かるように伝えることができる。 ・理由や根拠を明らかにして、タブレット等を活用しながら、自分の考えを伝えることができる。	・一時間の授業の中で、意図的にペアやグループでの話し合い活動の場を設け、自分の意見を伝えたり、友達の意見を聞いたりすることで、学びを深めることができるようにする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習準備を整えて、学習に取り組もうとしている。 ●苦手なことに対して最後まで諦めずに取り組んだり、失敗を恐れず新しいことに挑戦したりすることに不安を感じている児童が多い。	・自分の考えをもち、他者との交流を通して学ぶことの楽しさに気づき、協働的に解決しようとする態度を身につける。 ・自分の学習状況をしっかりと振り返り、次の学習のめあてをたてることができるようにする。	・振り返りから出た気づきを共有することで、次の学習目標につなげる。 ・友達の振り返りを紹介することで、質の高い振り返りができるようにする。 ・振り返りの視点を示し、自分の学習状況や課題を把握できるようにする。			